

○現状分析 (学力調査等の結果を踏まえた内容別・観点別の分析表)

2年		平均正答率		分析
		本校	都	
英語		56.5	55.8	場面に応じて自分で英文を書く「外国語表現の能力」で、都の平均を1.7%上回った。普段から自己表現をさせる機会を授業の中で設けている成果と言える。しかし、「外国語理解の能力」が0.8%、「関心・意欲」が6.5%下回っている。英語学習への関心・意欲を高めるため、実際に具体的な場面設定をして、生徒が場や相手を理解して英語を使い、表現する機会を設けていく必要がある。また、精読・精聴をテーマに、一つ一つの学習活動を丁寧に行っていく必要がある。
観点別 正答率	関心・意欲	80.7	87.2	
	外国語表現の能力	21.7	20	
	外国語理解の能力	69.7	70.5	
		63.3	60.2	

3年		平均正答率			分析
		本校	都	全国	
英語		63.1	67	58.9	全国の平均より上回っているものの、都の平均点よりも下回る結果となった。 ・「外国語表現の能力」が5%下回っている。既習事項を用いて自己表現をする力を身につけさせる必要がある。 ・「言語文化の知識」が4.6%下回っている。語彙力をつけさせるとともに、文法事項を総復習する必要がある。 ・長文を読み取る力もつけさせる必要がある。
観点別 正答率	関心・意欲	65.5	69.1	61.2	
	外国語表現の能力	48.6	53.6	43.7	
	外国語理解の能力	67	69.9	63.1	
	言語文化の知識・理解	63.3	67.9	59.3	

○指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアワークを中心とした音声学習を展開し、英語の音に触れる時間を十分にとる必要がある。</li> <li>少人数授業の基礎クラスでは、「外国語表現の能力」のうち、「書くこと」への苦手意識がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声学習を中心とした授業展開の中に、書く練習の時間も確保していく。</li> <li>基本文型ドリルを活用した小テストを毎週行い、単元ごとのまとめノートの提出を習慣化させ、家庭学習で復習する習慣をつけさせていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本が身につけていない生徒は放課後の補充教室を通して、定着させていく。</li> <li>発展クラスの生徒が意欲的に取り組める教材を常に準備し、授業でもより発展的、応用的な内容に取り組みさせる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語への「関心・意欲」が学力調査で都平均を大きく下回っている。</li> <li>英文を意味の塊ごとに区切って読む「スラッシュリーディング」を通じて、英語特有のリズムに触れていく必要がある。</li> <li>習熟度別少人数授業の基礎クラスでは、「外国語表現の能力」のうち、「書くこと」や話すことへの苦手意識がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自作プリントでスラッシュリーディングを行ったあと、教科書で音読をし自分でスラッシュを意識して読むことができる程度まで指導をする。</li> <li>授業内で自己表現の時間を設定し、自分のことについて書く練習をしたあと、ペアワークで発表をする。</li> <li>関心・意欲を高めるため、積極的に生徒同士のアクティビティを多めに取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本が身につけていない生徒は放課後の補充教室を通して、定着させていく。</li> <li>進路選択に対応できる学力を備えるため、長い英文を読み、問いに答えるような教材を作成する。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「外国語表現の能力」が最も正答率が低く、都との差も一番大きかった。上位の生徒も、自由英作文を苦手とする傾向がある。</li> <li>語彙力の不足、基本的な文法事項が理解不十分である。文法の総復習をする必要がある。</li> <li>長文読解に苦手意識のある生徒が多い。また英語の質問に対してどのように答え方が分からない生徒が目立つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を用いて自己表現をする機会を今まで以上に多く設定する。加えて3文で書く英作文にも継続的に取り組ませる。</li> <li>これまでの英文テストに加え、単語テストや文法テストも隔週で一回程度行うようにする。</li> <li>英問に対して文単位で答えられるように主語、動詞を意識させて答えるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由英作文に取り組ませた後、よい作文を紹介したり、間違いの多かったところを復習したりする中で、自己表現の力をつけさせる。</li> <li>読解問題が苦手な生徒には、まず、答えになりそうな文を見つけてアンダーラインを引かせるなど、スモールステップで取り組ませていく。また発展的な指導として多くの入試過去問題に取り組ませ、応用力を付けさせる。</li> </ul>